



Digital World 2021展示報告 Welltool株式会社



Welltool株式会社 CEO たなか はつみ
田中 初美

1. 事業内容

国境の壁を超えて、言葉の壁を超えて、世界中の人々がコミュニケーションできるシステムを作りたいとの思いで2015年3月3日にITシステム開発会社のWelltool株式会社を設立した。当社の多言語翻訳ソリューション・サービス「Welltool LP多言語Chat」は、世界中で言語の障壁をなくすことができ、SDGs持続可能な世界を実現するための17のゴールすべてに対してご活用いただける。世界中のバーチャル展示会はもちろん、オンラインミーティング、遠隔診療、観光関連、教育関係など様々なビジネスでも活用でき、まさに、コロナ禍の時代にも対応できる多言語翻訳ソリューション・サービスを展開している。

2. 出展内容

下記の内容のEnglish版動画を制作し、流した。

「welltool LP多言語チャット」が言語の壁を超え、コミュニケーションの新しい形を実現する。

「welltool LP多言語チャット」はこれまでの翻訳サービスとは違い、専用機器の導入やアプリをダウンロードする必要もない。

使い方は簡単！手持ちのスマートフォンでQRコードを読み込むか、専用URLからアクセスするだけ。

専用のトークルームが開いたら、いつも使っている自分の言語でチャットをするだけ。

相手から送られてきたチャットの内容も、自分の言語で

見られるのでコミュニケーションがスムーズにできる。

対応言語も108か国語をサポート！コミュニケーションの障壁である「言語の壁」を取り除く。

「Welltool LP多言語チャット」は、コミュニケーションツールにとどまらず、様々な分野での利用が可能。

また、窓口対応はもちろん、遠隔による多言語対応が行えるのでコロナ禍での非接触対応にも向いている。

写真や動画を送信することもできるので遠隔診療などの状況確認にも利用できる。

利用者とのトーク内容はログ保存ができるためトラブル防止にも役立つ。

「Welltool LP多言語チャット」は、SDGsとともに、を合言葉に、言語の壁を意識することなく、世界中の方と自分の言葉でやり取りができるもので、非接触時代のコロナ禍やアフターコロナ時代に向けて、オンラインでもオフラインでも両方で使える。

人々の生活やビジネススタイルにDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現させることができる、ということを訴求している。

当社は、実際にリアルで行われた2017年韓国釜山ITUデジタルワールドから始まり、2019年には、ハンガリーブタペストで行われたITUデジタルワールドに参加させていただいているが、コロナの影響で、2020年・2021年は、オンライン展示会での参加になった。

リアル展示会のほうが、相手の反応を見られる上、コミュニケーションが取りやすく、次のアクションを起こしやすい。オンライン展示会は、時間を気にすることなく、自分の空いている時間に展示会を見ることができる点は良いのだが、お客様の反応も感じることができず、コミュニケーションが取りづらい。

当社の技術も以前発表したものより更に進化し、皆さまに、認められてきたので、全世界で使ってもらうことを目標に、これからも頑張っていきたいと思っている。

来年は、オンライン・オフライン（リアル展示会）両方で参加できるようになると嬉しい。

ITU VIRTUAL DIGITAL WORLD 2021



出典：ITU Digital World 2021